

2022年度

決算の お知らせ

収入合計 35億2,900万円

支出合計 32億5,600万円

収入支出差引額 2億7,300万円

アボット健康保険組合の2022年度決算が、2023年7月27日に開催された第28回組合会において、可決、承認されましたのでご報告いたします。

一般勘定

概要

2022年度決算はコロナ禍による受診控えの反動と加入者増により保険給付費が大幅に増加しましたが、予算を上回る保険料収入が見込まれたため、2億7,300万円の黒字決算となりました。なお、決算残金のうち8.8万円は財政調整事業繰越金とし、残りは別途積立金口座に繰り入れました。

収入について

収入の大部分を占める「保険料収入」は、アボットダイアグノスティクスメディカル株式会社編入による被保険者の増加と総標準賞与額の伸びもあり、予算額より2億2,300万円増の35億2,900万円となりました。

支出について

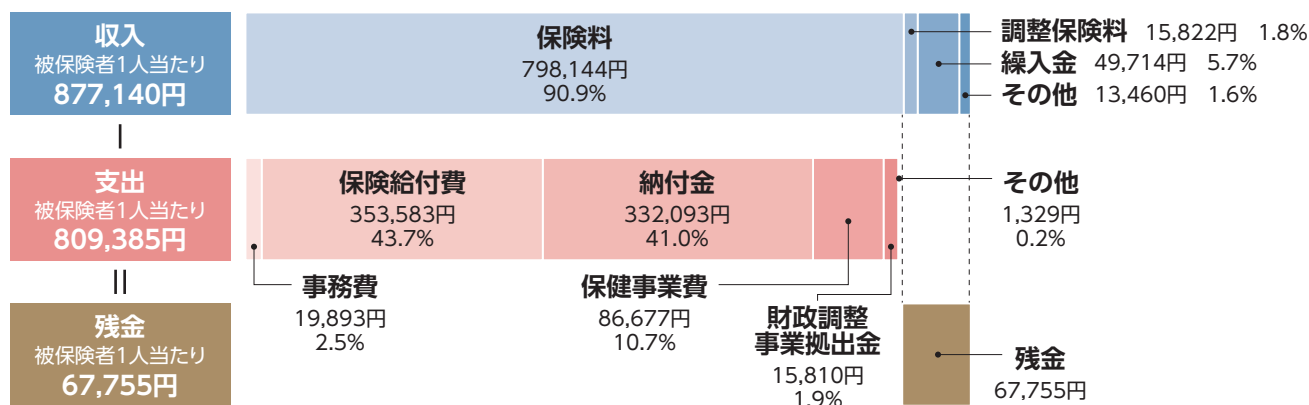
2022年度決算は保険給付費(みなさんが病気やけがをしたときの医療費等)の増加が大きく、対前年比2億7,700万円増の14億2,200万円となりました。予算では2021年度決算並みの11億4,000万円を見込んでいましたが、とくに家族の医療費の支出が大きく増加し、予算比では

124.8%の大幅増となりました。

一方、アボット健保の大きな負担となっている納付金(健康保険組合が国に拠出している高齢者のための医療費)ですが、2022年度は13億3,600万円となり、ほぼ予算通りの支出となりました。とはいえ1人当たり332,093円と保険給付費(353,583円)とほぼ同じ金額を負担しており、団塊の世代が全員、75歳以上の後期高齢者となる2025年問題を前に、アボット健保の負担は今後さらに重くなっていくものと予測されます。

保健事業費については、3億4,900万円支出しました。健診費用補助(オプション検査、二次検査・再検査含む)では、2022年度から「子宮頸がん検査の対象年齢の引き下げ(20歳以上)」、「被扶養者健診受診促進キャンペーン」(被扶養者が基本健診を受けた場合、被保険者に3,000ポイントを付与)を新規事業として実施しました。また、特定保健指導(遠隔面談)、重症化予防事業、電子申請によるインフルエンザ予防接種費用補助、健康相談事業、カフェテリアプランサービス等も引き続き実施し、みなさまの健康づくり支援に努めました。2022年度に実施した主な保健事業については4～5ページに掲載しています。

グラフで見る収支(一般勘定)と1人当たりの金額



2022年度収入支出決算(一般勘定)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人 当たり額(円)
収入	保険料収入	3,210,931	798,144
	調整保険料	63,653	15,822
	繰入金	200,000	49,714
	その他	54,150	13,460
	合 計	3,528,733	877,140

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人 当たり額(円)
支出	事務費	80,028	19,893
	保険給付費	1,422,466	353,583
	納付金	1,336,012	332,093
	保健事業費	348,701	86,677
	財政調整事業拠出金	63,604	15,810
	その他	5,345	1,329
	合 計	3,256,156	809,385
収支差引額		272,577	67,755

介護勘定

健康保険組合では、40歳以上の方の介護保険料の徴収を国から代行し、介護納付金として国に納めています。アボット健保では国に納める介護納付金は年々増加しているため、介護保険料率を2021年度から17%から20%に改定し、2022年度も料率を維持しました。2022年度は、一般勘定同様、保険料収入が増加したため、1億5,500万円の黒字となり、決算残金1億5,500万円は法定準備金に積み増しました。

2022年度収入支出決算(介護勘定)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人 当たり額(円)
収入	保険料収入	578,416	164,416
	その他	1	0
	合 計	578,417	164,416
支出	納付金	423,464	120,371
	その他	247	70
	合 計	423,711	120,441
収支差引額		154,706	43,975

2022年度実施 アボット健保の 主な保健事業

健康診断の費用補助

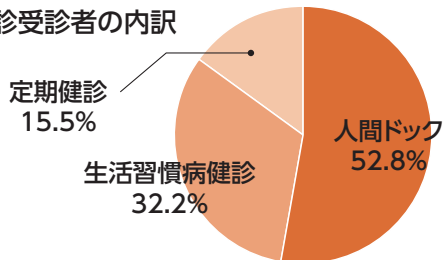
一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、巡回レディース健診及びオプション検査等の費用補助を行いました。

基本健診

2020年度は新型コロナによる受診控え等で被扶養者の受診が伸び悩みましたが、2022年度は被扶養者で7名減少したものの、全体で258名増加しました。また、2次検査(再検査)に対しては212名に費用補助しました。

	被保険者	被扶養者	合計	前年差
人間ドック	1,986名	388名	2,374	+155名
生活習慣病健診	1,134名	316名	1,450	+86名
定期健康診断	613名	61名	674名	+17名
合計	3,733名	765名	4,498名	+258名
前年差	265名	-7名	258名	

● 基本健診受診者の内訳



● 2次検査(再検査)の費用申請について

やむを得ない事情がある場合を除き、基本健診(一般健診・生活習慣病健診・家族健診・特定健診・人間ドック) **受診後3カ月以内の検査**が補助の対象です。3カ月を過ぎてから受検された場合は補助金の支給はいたしかねますので、予めご了承ください。

オプション検査

オプション検査の多くは無料であり、自己負担のある検査はカフェテリアポイントを使って検査を受けることができます。被扶養者の受診者が増加したこともあり、婦人科検診を受ける人が増加しました。

オプション検査	被保険者	被扶養者	合計	前年差
乳がん	641名	566名	1,207名	+99名
子宮頸がん	630名	549名	1,179名	+104名
胃部検査(X線)	61名	74名	135名	-1名
腹部超音波検査	592名	113名	705名	+85名
骨粗鬆症検査	558名	230名	788名	+102名
肝炎ウイルス検査	447名	165名	612名	+60名
前立腺がん検査	797名	2名	799名	+62名
大腸がん検査	81名	16名	97名	-2名
脳ドック	25名	2名	27名	-62名
アミノインデックス	13名	0名	13名	-5名
BNP検査	180名	12名	192名	-48名
ハート検診	128名	5名	133名	-31名
合計	4,153名	1,734名	5,887名	+363名

● オプション検査の費用申請について

やむを得ない事情がある場合を除き、基本健診(一般健診・生活習慣病健診・家族健診・特定健診・人間ドック) **受診当日に受検された検査**が補助の対象です。翌日以降に受検された場合は補助金の支給はいたしかねますので、予めご了承ください。

特定健診

被扶養者の受診率は53.6%とコロナ以前の水準に回復しました。それでも40歳以上の方は全員受ける必要がありますので、まだ少ない状況です。

	被保険者	被扶養者	合計	前年比
対象者	2,586名	1,056名	3,642名	109.4%
受診者	2,444名	566名	3,010名	109.4%
受診率	94.5%	53.6%	82.0%	

特定保健指導

2022年度の実施率は27.8%でした。2023年度末までの国の目標値は45%です。対象になった方には、積極的に保健指導を受けていただく必要があります。

	対象者	申込者(申込率)	終了者(終了率)
積極的支援	290名	58名(20.0%)	30名(54.4%)
動機付け支援	233名	83名(35.6%)	52名(62.7%)
合計	523名	141名(27.0%)	82名(63.1%)

被扶養者健診受診促進 キャンペーン

2022年度から新規事業として実施しました。20歳以上の被扶養者の健診受診率向上のため、対象となる被扶養者が基本健診を受診したら、被保険者にカフェテリアポイント3,000ポイントを付与するキャンペーンを実施。引き続き2023年度も実施しております。

重症化予防対策

血糖・血圧が基準値以上の方に対し、保健師等の専門家によるサポートプランを実施しました。

健診MYページの運営

ホームページ上で「健診MYページ」を開設し、健診結果に対するリスク度の解説、Web上でのメタボ対策支援を実施しました。

ホームページの運営

各申請書のダウンロード、限度額適用申請、インフルエンザ予防接種費用補助の電子申請をはじめ、健診の予約、健診結果等も閲覧できます。英語版も公開しています。

カフェテリアプランによる 各種サービス

1名あたり30,000ポイントを付与しました。2022年度の利用ポイントは110,140千ポイント、ポイント利用率は56.8%でした。使用されなかった67,140千ポイントは2023年度への繰り越しとなりました。

※カフェテリアプランについては14ページをご覧ください。

カフェテリアプラン 人気ランキング

1位	医薬品購入	4,154万ポイント(102.1%)	🔍
2位	健康関連用品	3,076万ポイント(103.5%)	🔍
3位	健康診断	2,107万ポイント(103.0%)	🔍
4位	旅行・宿泊	743万ポイント(111.5%)	🔍
5位	健康食品・サブリ購入	378万ポイント(100.0%)	🔍

※前年度比 🔍 ➡

機関誌「ふぁみりんく」の発行



健保の広報誌として年に2回(5月・10月)発行し、みなさまのご自宅に送付しました。予算・決算など重要事項のほか、保健事業の利用方法の案内や、「データヘルス計画」シリーズなどを掲載しました。また、4月に被保険者全員に「アボット健保ガイド」を配布しました。



メールマガジンの発行

データヘルス計画の一環として、「ヘルスリテラシーの向上」を目的に「健康づくり応援メルマガ」を発行しています。健保からのお知らせや、健康にまつわるニュースをイラスト付きで年3回発信しました。

インフルエンザ予防接種費用補助

上限3,500円として、3,403名の方に費用補助を行いました(電子申請2,408名・紙申請321名・集団接種674名)。申請は電子申請が便利です。ぜひご利用ください。

※2023年度のインフルエンザ予防接種費用補助につきましては、13ページをご覧ください。

こころの健康相談

メンタルヘルスへの対応として電話・メールによるこころの相談を実施しました(相談件数68件)。LINEでカウンセリングの予約もできます。ぜひご利用ください。

※詳細につきましては12ページをご覧ください。

Web上での医療費明細

健康や医療費に対する認識を深めていただくため、健保のホームページ上で医療費の実績を通知しました。また、税制改正に対応し、確定申告にも使用できるようになっています。

育児誌の無料配布

子育てをする被保険者、被扶養者の支援ツールとして1年間提供いたしました(新規申込86件)。